

科目	心理学 (B)	単位数	2単位
担当教員	多田 美香里		
履修対象	心理科学科1年春学期・健康科学科1年春学期・子ども発達1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 基本的な知識とされる心理学の過去の研究から様々なトピックスについて学修する。</p> <p>「目的」 心理学の基本的な知識や心理学の考え方の特徴をつかむことをめざすことを目的とする。</p>		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 心理学の成り立ちについて概説できる。 (2) 人の心の基本的な仕組みや働きについて概説できる。 (3) 心理学の学術的専門書を読むことができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 学術的な心理学と科学的でない心理学の違いを区別できるようになる。 (2) 主体性・多様性・協働性 (1) 過去の研究について現在の倫理的観点から批評することができる。</p>		
授業計画			
1	心理学の萌芽期と発展期：心理学の起源、発展と対象		
2	心理学の展開期：生態学的心理学、進化心理学的アプローチ、認知行動科学、行動遺伝学		
3	心の表現（生まれ持ったもの）1：脳の構造、神経機能		
4	心の表現（生まれ持ったもの）2：遺伝		
5	心の表現（気もちとやる気）：感情の仕組み・機能、動機づけ理論		
6	心の表現（見え方と感じ方）：知覚の情報処理過程、感覚モダリティ、アフォーダンス		
7	心の表現（動きを身につける）：馴化・鋭敏化、古典的条件づけ、道具的条件づけ		
8	心の表現（覚え方と考え方）：記憶・注意、思考、認知バイアス		
9	心の表現（わたしとあなた）：知能、パーソナリティ		
10	心の表現（わたしとみんな）：対人関係、集団・組織、自己		
11	心の広がり（心の広がり方）：発達の定義、ライフステージと発達課題		
12	心の広がり（心の広げ方）：認知発達理論、言語発達、アタッチメント理論、道徳性の発達		
13	心のトラブルと快復：不適応、ストレス理論、燃え尽き症候群、トラウマ、依存性、レジリエンス、首尾一貫感覚（SOC）		
14	心を測り・心を支える：心理アセスメントの方法、事例定式化、心理的支援、支持的療法、マイクロカウンセリング、動機づけ面接		
15	心を支える術：精神分析、認知行動療法、応用行動分析、家族療法、ブリーフ・セラピー、対人関係療法、公認心理師		
授業形態／具体的な内容	講義／講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
最新・はじめて学ぶ社会福祉「心理学と心理的支援」	杉本敏夫 監修 宇恵弘・多田美香里・木村志保編著	ミネルヴァ書房	2,400円
参考書			
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準：心理学の成り立ちや心の仕組みについて理解し、概要を説明できること。</p> <p>成績評価の方法：受講態度（積極性・コメントの妥当性）10点、課題（宿題、小テスト、小レポート、コメント）の達成度40点、学期末試験50点とする。</p>		
留意点	毎回宿題がある。加えて、次回の授業で扱う用語等を事前に挙げるので、自主的に調べてくることを推奨する。		
準備学習	各回のテーマについて教科書の該当する部分を読み、わからない用語や項目について各自で調べてノートにまとめておくこと（1時間程度）。 授業終了後マナバに掲載している課題を期限までに行い提出すること（1時間程度）。		
備考	宿題、レポート課題等については締め切り後にマナバ等で解答例を示すので、採点結果とともに参照すること。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法を変更する可能性があります。	No.	GE712004

科目	心理学概論(心)	単位数	2単位
担当教員	多田 美香里		
履修対象	心理科学科1年秋季学期		
概要と目的	「概要」 基本的な知識とされる心理学の過去の研究から様々なトピックスについて紹介する。 「目的」 心理学の基本的な知識や心理学の考え方の特徴をつかむことをめざすことを目的とする。		
達成目標	「知識・技能」 (1) 心理学の成り立ちについて概説できる。 (2) 人の心の基本的な仕組みや働きについて概説できる。 (3) 心理学の学術的専門書を読むことができる。 「思考力・判断力・表現力」 (1) 学術的な心理学と科学的でない心理学の違いを区別できるようになる。 「主体性・多様性・協働性」 (1) 過去の研究について現在の倫理的観点から批評することができる。		
授業計画			
1	心理学とは、心理学の歴史：心理学が扱う対象、細分化された領域、心理思想、心理学の成り立ち、学派		
2	人間の行動特徴：動物と人間、生得性と獲得性、初期経験		
3	発達：発達観、言語発達、自我の形成、発達段階、加齢		
4	学習：古典的条件づけ、オペラント条件づけ、観察学習		
5	感覚：感覚の種類と範囲、感覚間統合		
6	知覚：注意、体制化、恒常性、空間と運動		
7	認知：記憶の過程、非言語的記憶、学習プログラム		
8	言語：音声、運用と理解、概念獲得		
9	思考：問題解決、推論、創造的思考		
10	動機づけ：内発的動機、社会的動機、動機の階層と獲得、原因帰属		
11	情緒：ノンバーバルコミュニケーション、情動表出、気分と感情		
12	人格：把握と形成、特性と類型、検査、知能		
13	社会：個人と集団、対人認知		
14	臨床：異常心理学、心理アセスメント、心理療法論		
15	再び、心理学とは：これまでのまとめとそれを踏まえた人の心の基本的な仕組みや働き、関連する領域について確認		
授業形態/具体的な内容	講義/講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は指定しない			
参考書			
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：心理学の成り立ちや心の仕組みについて理解し、概要を説明できること。 成績評価の方法：受講態度（積極性・コメントの妥当性）10点、課題（宿題、小テスト、小レポート、コメント）の達成度40点、学期末試験50点とする。		
留意点	毎回宿題がある。加えて、次回の授業で扱う用語等を事前に挙げるので、自主的に調べてくることを推奨する。		
準備学習	各回のテーマについて教科書の該当する部分を読み、わからない用語や項目について各自で調べてノートにまとめておくこと（1時間程度）。 授業終了後マナバに掲載している課題を期限までに行い提出すること（1時間程度）。		
備考	宿題、レポート課題等については締め切り後にマナバ等で解答例を示すので、採点結果とともに参照すること。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法を変更する可能性があります。	No.	

科目	心理学統計法Ⅰ(心)	単位数	2単位
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	心理科学科1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 心理学の研究で用いられる統計手法の基礎概念について学修する。</p> <p>「目的」 心理学の研究で用いられる統計手法の基礎概念の理解を深めることを目的とする。</p>		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 心理学で用いられる統計手法について概説ができる。 (2) データの数量化の意味が説明、統計量の計算、推測統計の説明、統計的仮説検定の説明ができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 正しい計算ができているか、また、正しい統計知識の利用ができているか考えることができる。 (2) 統計に関する基礎的な内容について理解し、データを用いて実証的に考えることができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) ところを数値で表現することに関心をもつ。 (2) マスメディアで目にする(耳にする)統計情報に関心をもつ。</p>		
授業計画			
1	1変量の要約記述(1):代表値		
2	1変量の要約記述(2):散布度		
3	1変量の要約記述(3):標準得点		
4	2変数関係の要約記述(1):クロス表と散布図		
5	2変数関係の要約記述(2):共分散と相関係数		
6	2変数関係の要約記述(3):順位相関と連関係数		
7	回帰(1):相関と回帰		
8	回帰(2):回帰式と最小2乗法		
9	回帰(3):回帰係数と切片		
10	回帰(4):重相関係数と決定係数		
11	確率(1):確率とは何か、確率分布		
12	確率(2):正規分布		
13	確率(3):連続型確率変数と確率		
14	推測統計(1):母集団と標本		
15	推測統計(2):母数の推定		
授業形態/具体的な内容	講義/反転授業、実習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
公認心理師ベーシック講座 心理学統計法	芝田征司	講談社	2,600円+tax
参考書	よくわかる心理統計、山田剛史・村井潤一郎、2004年、ミネルヴァ書房 心理学のためのデータ解析テクニカルブック、森敏昭・吉田寿夫、1990年、北大路書房 初めて学ぶ統計学、菅民郎・桧山みぎわ、2003年、現代数学社		
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①心理学で用いられる統計手法と統計に関する基礎的な知識を理解し、②宿題や期末試験による各概念の確認過程で一定の基準をクリアしていれば合格。</p> <p>方法 事前事後課題、期末試験、学習意欲による総合評価。</p>		
留意点	宿題(事前学習と事後学習)は毎時課すので必ず提出すること。特に、復習を必ず実施すること。		
準備学習	各回、事前事後学習のための宿題を準備しているので、翌週までに解答しておくこと。(1.5時間程度)		
備考	各回の宿題については次週にフィードバックする。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法等を変更する可能性があります。		No. PY621003・HS121002

科目	心理学統計法Ⅱ	単位数	2単位
担当教員	多田 美香里		
履修対象	心理科学科2年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 心理統計法Ⅰに続いて心理学の研究で実際に用いられる統計手法を紹介し、演習により実際に検定を行う。</p> <p>「目的」 統計手法を学ぶことで科学的見地と思考について理解することが目的である。</p>		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 心理学で用いられる統計手法について概説できるようになる。</p> <p>(2) 論文の統計的記述を抵抗なく読むようになる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) 基本的な心理統計の内容を理解し、データを用いて実証的に考えるようになる。</p> <p>(2) ニュースやインターネット等で得られる情報に対して科学的・客観的判断をもって理解する。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) 心理学的問題に対して適合した統計的手法を自ら選択できる。</p>		
授業計画			
1	心理学で用いられる統計手法について概説するとともに、データを用いた実証的な考えについて議論する。		
2	t検定／独立な2群の平均値差に関するt検定(1)		
3	t検定／独立な2群の平均値差に関するt検定(2)		
4	t検定／対応のあるt検定		
5	復習／t検定を用いた研究事例		
6	カイ2乗検定(1)／適合度の検定		
7	カイ2乗検定(2)／独立性の検定		
8	復習／カイ2乗検定を用いた研究事例		
9	分散分析／1要因分散分析(1)		
10	分散分析／1要因分散分析(2)		
11	復習／1要因分散分析を用いた研究事例		
12	分散分析／2要因分散分析(1)		
13	分散分析／2要因分散分析(2)		
14	分散分析／2要因分散分析(3)		
15	復習／2要因分散分析を用いた研究事例、まとめ／その他の統計の紹介、心理統計の特徴の復習		
授業形態／具体的な内容	講義／講義、実習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
公認心理師ベーシック講座 心理学統計法	芝田征司	講談社	2,600円+tax
参考書	南風原朝和・平井 洋子・杉澤 武俊(2009) 心理統計学ワークブック -- 理解の確認と深化のために 有斐閣 南風原朝和(2002) 心理統計学の基礎 有斐閣 森敏昭・吉田寿夫(1990) 心理学のためのデータ解析テクニカルブック 北大路書房 田中敏・山際勇一郎(1992) ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法 教育出版 山内光哉(2009) 心理・教育のための統計法 サイエンス社		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：心理学で用いる基本的な統計手法について理解し、概要を説明できること。 成績評価の方法：受講態度(積極性・コメントの妥当性)10点、課題(宿題、小テスト、小レポートなど)の達成度40点、学期末試験50点とする。		
留意点	毎回宿題がある。また、定期的に課題やコメントの提出を求める。授業中に電卓を用いた計算を行うことがある。		
準備学習	各回のテーマについて教科書の該当する部分を読み、わからない用語や項目について各自で調べてノートにまとめてくること(1時間程度)。 授業終了後マナバに掲載している課題を期限までに行い提出すること(1時間程度)。		
備考	毎回の宿題や課題については締め切り後にマナバ等で解答例や採点結果を示すため、各自の学習の参考にすること。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法を変更する可能性があります。	No.	PY821023

科目	心理学研究法Ⅰ(心)	単位数	2単位
担当教員	尾崎 拓		
履修対象	心理科学科1年秋季学期		
概要と目的	<p>「概要」 すべての領域の心理学を学ぶ基礎となる、心理学の研究方法についての知識を学修する。</p> <p>「目的」 社会事象を心理学の観点をを用いて科学的に見ること、分析することができるようになることを目的とする。</p>		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 科学に関する基礎的な知識を理解する。 (2) 心理学の研究方法についての知識を理解する。 (3) 自分の研究や活動で研究法を応用する技能を修得する。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 自分の研究を遂行する際に、適切な研究法を判断できる。 (2) 自分や他人の研究法に対する批判的思考ができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 自分自身の興味に応じて、研究法を主体的に選択できる。 (2) さまざまな研究法を理解することで、心理学の多様なアプローチ方法を理解する。</p>		
授業計画			
1	心理学研究法の概要と講義方針の説明：心理学と科学		
2	研究とはなにか：科学的な知識はどのように生み出されるか		
3	心理学研究者の日常：研究・倫理・論文		
4	心という見えないものはたらきをどのように研究するのか：心理学研究法の基礎知識		
5	心のはたらきを調べる方法：実験・調査・観察・面接		
6	心理学で何を調べるのか：質的研究と量的研究		
7	心理学が取り扱うデータ：データとはなにか、なぜ重要なのか		
8	心を測定するということ：「気持ち」をどう測るか		
9	データの中身を把握する：記述統計		
10	どのようにデータを得るか・データから何が言えるか：抽出と母集団		
11	手元のデータからその先を見通す：推測統計		
12	データにもとづいて判断する：検定の考え方		
13	データを扱ううえで注意すること：統計を正しく使う		
14	人間の心を測定するうえで注意すること：研究倫理		
15	よい研究とは：自分が研究をするうえで考えておくべきこと		
授業形態／具体的な内容	講義／講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
指定教科書なし			
参考書	<p>『なるほど！心理学研究法』（心理学ベーシック第1巻）、三浦麻子監修・著、北大路書房、2,200円</p> <p>『心理学をまじめに考える方法：真実を見抜く批判的思考』、キース・E・スタノヴィッチ著、金坂弥起訳、誠信書房、2,700円</p> <p>『最速の推計統計-正規分布の徹底攻略』渡邊 洋著、コロナ社、2,860円</p>		
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①科学研究の知識および②心理学研究の方法を理解できれば合格とする。</p> <p>方法 ①と②に関する試験を実施する（100％）。</p>		
留意点	ノートテイキングを重視する。講義内容に関する質問・コメントを歓迎する。		
準備学習	マナバで各回のキーワードを理解するためのウェブページを紹介する。これを読み、理解した点と不明な点をノートにまとめること（1時間）。		
備考	講義内容に関する質問・コメントに講義内あるいはマナバで回答する。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法等を変更する可能性がある。	No.	PY621006・HS122001

科目	心理学研究法Ⅱ	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2024年度春学期	月曜4限	
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	心理科学科3年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 心理学の代表的研究法の1つである質問紙調査法について学修をします。まず、質問項目作成時に留意する点を学び、実際に質問項目を作成します。次に、作成した質問項目を使用して調査を実施し、収集した資料の入力と項目の分析を行います。</p> <p>「目的」 質問項目の作成方法とその回答方法、ならびに調査の手続きと項目の検討を、実習を通じて理解・体得することが目的です。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 質問項目の作成方法について理解し、実践で役立てることができる。 (2) 調査倫理について理解し、実践で役立てることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 人間の行動、態度、思考などを的確にとらえる項目となっているか考えることができる。 (2) コンピュータを利用し、質問紙の作成からデータの入力・分析までをおこなうことができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 人間の行動、態度、思考などを的確にとらえるための項目作成について関心を持つ。 (2) 質問紙調査を実施する際の倫理について関心を持つ。 (3) 仲間と協力し、情報交換をしながら項目作成に取り組むことができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	質問紙調査法とは1/オリエンテーション、他の研究法との比較から質問紙調査法を理解する、サンプリングと調査の実施		宇恵
2	質問紙調査法とは2/フェースシートと調査倫理		宇恵
3	項目作成の基礎1/測定内容の明確化、項目作成の方法、ワーディング(課題:項目の案出)		宇恵
4	項目作成の基礎2/質問項目を整える(課題:項目案をまとめる)		宇恵
5	項目作成の基礎3/回答形式について(課題:項目案をまとめる)		宇恵
6	項目作成の基礎4/調査用紙の作成(課題:調査用紙を完成させる)		宇恵
7	調査の実施/調査の実施、データの整理と入力(課題:データ収集と入力)		宇恵
8	項目分析1/項目困難度1(課題:データの統合と度数分布表の作成)		宇恵
9	項目分析2/項目困難度2(課題:データ分析結果のレポート作成)		宇恵
10	項目分析3/項目識別力1(課題:項目尺度間相関を求める)		宇恵
11	項目分析4/項目識別力2(課題:データ分析結果のレポート作成)		宇恵
12	項目分析5/項目識別力3(課題:GP分析を行う)		宇恵
13	項目分析6/項目識別力4(課題:データ分析結果のレポート作成)		宇恵
14	春学期の復習1/レポート作成		宇恵
15	春学期の復習2/レポート作成		宇恵
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	各回、事後学習のための宿題を準備しているので、翌週までに解答しておくこと。		1.5時間程度
フィードバック	課題に対しては各講義時間内にフィードバックする。		
学生が準備すべき機 器等	講義にノートパソコンの持参を推奨する。		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義/実習もしくは実技		
具体的な内容	グループワーク/講義/実習もしくは実技/PBL/調査学習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
指定教科書なし			

参考書	図書館OPACで検索 (https://fuksi-kagk-u.opac.jp/opac/Notice/detail/39)		
参考書名	著者名	出版社	金額
調査法講義	豊田秀樹	朝倉書店	
心理尺度の作り方	村上宣寛	北大路書房	
社会福祉調査の基礎	橋本有理子編著	ミネルヴァ書房	
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>「基準」 ①項目作成の一連の手順が理解でき、②各回の課題や最終課題において一定の基準をクリアできていれば合格。</p> <p>「方法」 各回の課題提出状況と学修内容確認課題60%、学修意欲40%。</p>		
留意点	<p>課題の提出を頻繁に求めます。 グループワークにより講義と課題を進めます。 心理統計学の学習を終えている、あるいは本年度履修していることが望ましい。 コンピュータの操作、特にExcelの操作に熟達していること。</p>		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	PY821027

科目	心理的アセスメントⅠ（心）	単位数	2単位
担当教員	津田 恭充、久保 信代、櫻井 秀雄、相谷 登、松本 敦		
履修対象	心理科学科2年春学期		
概要と目的	「概要」心理的アセスメントの基本的知識、倫理、実際について学修する。 「目的」心理的アセスメントの目的、倫理、方法について理解することを目的とする。		
達成目標	「知識・技能」 （１）心理的アセスメントの目的、内容、実施法、解釈法を総合的に理解する。 「思考力・判断力・表現力」 （１）さまざまなアセスメントの理解を通じて、検査者の役割や姿勢について考える。 「主体性・多様性・協働性」 （１）アセスメント実施に伴う倫理的責任について注意を払う。		
授業計画			
1	オリエンテーション、心理的アセスメントの目的および倫理（久保）		
2	心理的アセスメントをめぐる諸概念（久保）		
3	行動観察（櫻井）「行動」についての多角的視点		
4	行動観察（櫻井）行動観察の実際		
5	行動観察（櫻井）心理検査と行動観察		
6	アセスメント面接（久保）		
7	アセスメント面接（久保）		
8	アセスメント面接（久保）		
9	心理検査（津田）		
10	心理検査（津田）		
11	心理検査（津田）		
12	医学・生理学的検査（松本）		
13	医学・生理学的検査（松本）		
14	生活史・成育歴の調査（相谷）		
15	生活史・成育歴の調査（相谷）		
授業形態／具体的な内容	講義 / 演習、講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
公認心理師の基礎と実践14「心理的アセスメント」	津川律子・遠藤裕乃	遠見書房	2600円＋税
参考書	適宜紹介する		
成績評価の基準・方法	基準：授業で扱った心理アセスメントの理論と方法が理解できていれば合格とする。 方法：各教員から出題されるレポート提出、小テストや授業内での課題の総合点によって評価する。		
留意点			
準備学習	マナバにてレジュメ、資料を印刷して事前目を通してから授業に臨むこと。各講義テーマのテキスト内容を読んでおくこと（1.5時間程度）。		
備考	・提出された課題に対するフィードバックは授業時に行う。 ・実務経験あり：医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う（久保）。 ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法を変更する可能性があります。	No.	PY822003

科目	心理学実験Ⅰ（心A）	単位数	2単位
担当教員	多田 美香里、松本 敦、林 美恵子		
履修対象	心理科学科2年春学期		
概要と目的	「概要」 心理学の基礎的な実験を実施し、科学における実験の意義と方法の理解を深めていく。 「目的」 実験を通じて科学的見地と思考について理解することが目的である。		
達成目標	「知識・技能」 （１）実験の目的に合わせて実験計画を立てることができる。 （２）実験データの収集および処理を適切に行うことができる。 （３）実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成することができる。 「思考力・判断力・表現力」 （１）実験を通して実証的な考え方をするようになる。 （２）研究報告書の作成を通じて、科学的・客観的な表現ができる。 「主体性・多様性・協働性」 （１）実験結果を様々な視点から考察することができる。		
授業計画			
1	ガイダンス：受講上の注意点、科学論文と研究倫理、文献検索の仕方などの確認をします。（全員）		
2	系列位置効果：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
3	系列位置効果：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
4	視覚探索：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
5	視覚探索：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
6	大きさ知覚：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
7	大きさ知覚：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
8	ミュラー・リヤー錯視：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
9	ミュラー・リヤー錯視：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
10	SD法：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
11	SD法：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
12	触2点閾：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。（全員）		
13	触2点閾：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
14	データ解析演習：実習の意義と目的を解説し、PCを用いたデータ解析方法を説明します。（全員）		
15	データ解析演習：PCによるデータ分析結果の出力とその解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。（全員）		
授業形態／具体的な内容	実験／グループワーク、実験、実習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は指定せず、教員が用意したレジюмеに基づいて授業をすすめます。			
参考書	心理学実験指導研究会（1985）実験とテスト＝心理学の基礎 培風館 日本心理学会認定心理士資格認定委員会（2015）認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 金子書房		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：実験報告書（レポート）が作成でき、心理学の実験について理解すること。 成績評価の方法：各レポートは、別途配布する評価表の基準によって100点満点で評価します。すべてのレポートの平均点を80%、受講態度（実験への貢献度、積極性等）を20%とします。		
留意点	授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 オムニバス講義ではありません。3班（3教室）に分かれて2週で1テーマずつ順番に行います。 上記の授業計画の授業回ごとの内容は1班の例です。3教室別テーマで同時進行しますので、テーマの順番は班によって違います。 テーマの担当は次のとおりです（予定）。 系列位置効果、ミュラー・リヤー錯視（松本） 視覚探索、SD法（林） 触2点閾、大きさの知覚（多田） データ解析演習（全員） レポート（実験の報告書）はすべてのテーマで提出し、期限までに提出されない場合は成績評価対象になりません。		
準備学習	この実習で扱うテーマに関する用語を各自調べてノートにまとめてくること（1時間程度）。 実験終了後この実習で扱ったテーマに関する文献を調べてノートにまとめておくこと（1時間程度）。		
備考	レポートは添削し、評価とコメントをmana等でフィードバックします。合格点に達していないレポートには再提出を課します。期限までに再提出されない場合、そのテーマのレポートは0点になります。	No.	PY822004

科目	心理学実験Ⅱ（心A）	単位数	2単位
担当教員	多田 美香里、松本 敦、林 美恵子		
履修対象	心理科学科2年秋季学期		
概要と目的	<p>「概要」 心理学実験Ⅰで学んだことを活かしさらに進んだ実験を行うことに加えて実験計画を考えたり考察を深めていくことにも取り組む。</p> <p>「目的」 基礎から一歩踏み込んだ実験を実施することにより科学的見地と思考について理解をさらに深めることが目的である。</p>		
達成目標	<p>「知識・技能」 （１）実験の目的に合わせて実験計画を立てることができる。 （２）実験データの収集および処理を適切に行うことができる。 （３）実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成することができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （１）実験を通して仮説検証について学び、実証的な考え方をできるようになる。 （２）研究報告書の作成を通じて、科学的・客観的な表現ができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 （１）実験結果を様々な視点から考察することができる。 （２）心理学の研究例について改善点やより良い検証方法の提案ができる。</p>		
授業計画			
1	ガイダンスと復習課題：受講の注意点の確認、実験およびレポート作成に関する課題を行います。		
2	ストループ課題：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
3	ストループ課題：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
4	社会的促進：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
5	社会的促進：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
6	重量弁別：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
7	重量弁別：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
8	日常記憶：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
9	日常記憶：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
10	知覚運動学習：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
11	知覚運動学習：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
12	連想プライミング：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
13	連想プライミング：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
14	生理データの測定：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
15	生理データの測定：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
授業形態／具体的な内容	実験／グループワーク、実験、実習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は使用せず、教員が用意した教材に基づいて授業をすすめます。			
参考書	心理学実験指導研究会（1985）実験とテスト＝心理学の基礎 培風館 日本心理学会認定心理士資格認定委員会（2015）認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 金子書房		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：実験報告書（レポート）が作成でき、心理学の実験について理解すること。 成績評価の方法：各レポートは、別途配布する評価表の基準によって100点満点で評価します。すべてのレポートの平均点を80%、受講態度（実験への貢献度、積極性等）を20%とします。		
留意点	授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 オムニバス講義ではありません。3班（3教室）に分かれて2週で1テーマずつ順番に行います。 上記の授業計画の授業回ごとの内容は1班の例です。3教室別テーマで同時進行しますので、テーマの順番は班によって違います。 テーマの担当は次のとおりです（予定）。 ストループ課題、生理データの測定（松本） 社会的促進、知覚運動学習（林） 重量弁別、連想プライミング（多田） 日常記憶（全員） レポート（実験の報告書）はすべてのテーマで提出し、期限までに提出されない場合は成績評価対象になりません。		
準備学習	この実習で扱うテーマに関する用語を各自調べてノートにまとめてくること（1時間程度）。 実験終了後この実習で扱ったテーマに関する文献を調べてノートにまとめておくこと（1時間程度）。		

備考	レポートは添削し、評価とコメントをmana等でフィードバックします。合格点に達していないレポートには再提出を課します。期限までに再提出されない場合、そのテーマのレポートは0点になります。 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、授業計画や評価方法を変更する可能性があります。	No.	PY822005
----	---	-----	----------